

学位論文審査結果の要旨

博士課程 ①・乙	第 422 号	氏名	宮内 俊一
審査委員		主査氏名	佐藤 克明
		副査氏名	藤元 祐一
		副査氏名	船坂 悦男
<p>[論文題名] Increased plasma lactoferrin levels in leukocytapheresis therapy in patients with rheumatoid arthritis 関節リウマチ患者に対する白血球除去療法における血中ラクトフェリンの増加 Rheumatology, in press</p> <p>[要旨] 宮内俊一氏は関節リウマチ (RA) 患者に対する白血球除去療法 (LCAP) の治療機序解明の一助として好中球顆粒内成分の放出に着目し検討を行った。同氏は解析の結果より、LCAP カラム内では不織布との接触により好中球が脱顆粒を起こし、ラクトフェリン (LTF) が血中に放出されたことを推測した。一方、LTF は、鉄のキレート作用による殺菌効果に加えて、過剰な免疫反応の抑制やサイトカイン産生の阻害などが報告されている。従って、同氏は LCAP を用いた RA 治療において患者血中の LTF 濃度が上昇することが RA の病勢を抑制し治療効果発現に寄与している可能性を考察した。 本研究論文はリウマチ学英文専門誌『Rheumatology』に受理されており、当該領域において臨床研究での重要な知見であると認められる。また、質疑応答では同氏は主査と副査からの質疑に対して的確に応じた。</p> <p>本学位論文審査の結果から、学位授与に資する論文であると判定した。</p>			